

しろとや！広島城



第2号



発行 / 財団法人広島市文化財団 広島城
 〒730-0011 広島市中区基町21番1号
 電話 082-2221-7512
 FAX 082-2221-7519
 開館時間 9:00~17:30(4月~9月)
 9:00~16:30(10月~3月)

秋の企画展①

描かれた城郭

絵巻・絵図に見る城

平成16年9月11日(土) ~ 10月17日(日)

特別リポートは初登場！ 城人くん

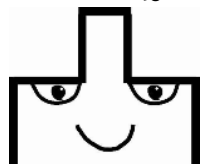
広島城博士がお城の企画展を紹介！

城人「展示してあるお城の絵は、天守や石垣、水堀が全然ない。何これ？これってお城なの??？」

博士「これもお城なんじゃ。君の知っているのは、多くが江戸時代のお城なんじゃ。この企画展で展示しているのはそれ以前のお城もあり、自然の地形に手を加えただけのものや、屋敷を堀で囲むものもあるが、戦いのために立てるところは、お城と考えられていたんじゃないやろう。」

城人「なるほど。あ——これ知っている！戦国時代の郡山城(写真)だね。今は建物がないけど、昔はこんな姿だったんだ、カッコいいー」

博士「違う違う、実際はどんな姿をしていたのか良くわかっていない。この絵は、江戸時代に描かれたから、そのころのお城をイメージして想像で豪華に描かれたんだよ。」



しろとくん

城人「へーなるほど。だから戦国時代のお城が江戸時代のお城っぽく見えるんだね。歴史って奥が深いね。博士、ありがとう」

博士「他にも面白い絵があるよ。ぜひ見に来てね。」

豆知識 郡山城：毛利氏が広島城に移るまでの居城で、現在の安芸高田市吉田町に城跡が残っています。



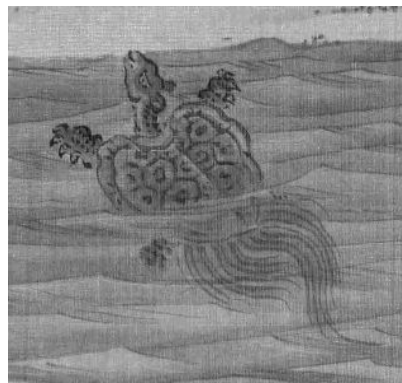
吉田城とその附近城塞図(部分) (郡山城) 広島城蔵

☆☆ 企画展の期間中、毎週日曜日の午後2時から展示の見どころなどを解説するガイドを行っています。15分程度なので気軽にご参加くださいね！ ☆☆

秋の企画展②

そこには深い意味がある 入門！日本の画題

平成16年10月23日(土) ~ 11月21日(日)



蓬萊図(部分)

スクーフ！
亀に毛が生えている？

皆さんは、掛け軸や屏風とかに描かれた昔の絵を見たことがありますか？ 見てもあんまり興味が無いかな？でもよく見ると、とっても面白いことも分かるんですよ。

例えばこの亀、なんとフサフサした毛みたいなのが生えている！ こういう亀を蓑亀と言います。昔の人が雨具として使った「蓑」を腰に着けているように見えるからこう呼ばれるんです。あ、でもね、蓑亀は本当はいないんですよ。甲羅に水草を着けた亀(これは時々本当にいます)を見た昔の人がしっぽが生えた亀だ！と考えたようですよ。

昔の人は「亀はとーっても長生きをする。」って考えていました。そして、その超長生きの亀がもーっと長生きをすると、毛みたいなしっぽが生えて蓑亀になるって思ってたんです。つまり、蓑亀は超超長生き！ だからもし蓑亀が絵に描かれていたら、それは長生きすることを願うものだったり、おめでたい意味があったりするんです。

ちなみに蓑亀はよく鶴とセットで描かれます。鶴もまた長生きの鳥と考えられていたから。ほら「鶴は千年、亀は万年」という言葉もあるでしょ。知らない？ そろえばますます長生きでおめでたいって意味なんです。鶴亀コンビはお正月のポスターにもよく登場しますから、今度よく観察してみましようね！

「入門！日本の画題」では他にもいろんな絵の意味を紹介します。見に来てね！

うさぎにも深い意味があるよ！



かめとはコンビじゃないんだけどね…

たんけん！広島城

お城博士講座

お城といえば天守閣！

でもそれだけではありません。

広島城には、あなたの知らない秘密がいっぱい！！
みなさん、一緒に広島城のふしぎ歴史をさぐりましょう



内容：広島城の石垣など史跡の見学
対象：小学校5年生〜中学生
開催日時：①11月21日(日) ②11月28日(日)
①と②は同じ内容で、1日で終わります。
会場：史跡広島城跡一帯
募集：くわしいことは「市民と市政」11月1日号
でお知らせします

1000年歴史の公民館

広島城に建つ？自由の女神

現在の広島城といえば、内堀とその内側の本丸、二の丸を残すのみとなってしまいました。(とはいえ広島市内のあちこちにお城の痕跡(注)が残っています。探してみてくださいいね。)(でももともとは西日本有数の大きなお城で、広島市民球場40個分くらいの広さを誇っていたんですよ。それが明治時代になると、侍屋敷などが建ち並んでいたお城の中にはまず県庁が、その移転後には軍の施設が次々と建てられ、以後ずっと利用されていきました。また、広大な堀も次第に必要が感じられなくなり、外堀は明治時代の終わりから徐々に埋め立てられて、道路や宅地作りかえられていきました。とはいえ、基本的に広島城の輪郭は、よく見ると現在の広島のみちにも受け継がれています。

さて、昭和20年(一九四五)8月の旧広島城内にも、たくさん軍の施設がありました。原爆が投下されたとき爆心地からほぼ1キロメートルという近距離にあったため、壊滅的な打撃を受けました。明治時代以降も取り壊しを免れ、築城以来の姿を三百数十年伝え続けた天守閣も一瞬のうちに倒壊してしまつたといえます。やがて、終戦を迎えると、旧広島城内には広大な元軍用地が残され、その利用が戦後の復興の中で大きな注目を集めることになりました。官庁・学校街の建設、中央公園の設置などが計画され、また、応急で市民が当面暮らすための住宅が次々と建てられていきました。しかし内堀より内側の広島城の遺構(注)といえば、草ぼうぼうで荒れ果てていました。「広島城はもういらぬよ。」という人もいれば、「残っていた内堀も埋めてしまえ。」という意見

この秋 広島城に新コーナーが誕生！

広島城第一層に、簡易型の甲冑や兜を

試着できる場所が新しく整備

されます。記念撮影もOKです。

大人も子どもも、男性も女性も大歓迎。

試着した格好を見て笑うもよし、

はるか昔を空想するもよし・・・、

楽しみ方はあなた次第。

(でも、もって帰っちゃだめだよ)

これからも、広島城にご期待下さい。

※このコーナーは、11月以降の開始を

目指して現在準備をしています。

開始日など詳しいことにつきましては、

もうしばらくお待ち下さい。



もありました。中にはなんと、自由の女神を建てようという
びっくりするよつな意見もあつたんです！

わたくし、



昭和22年(一九四七)7月9日付の中国新聞「『城跡に自由の女神 あすの広島を世界平和のメッカ』という見出しが見えます。その記事は、平和のシンボルである自由の女神を模造して広島城跡に建て、その周りに美術・音楽・体育の文化の殿堂を建てよう、という構想で、「自由の女神像建設予定地の広島城跡」の写真まで掲載されています。ですが、自由の女神が広島城跡に残っていた天守台に建つことはありませんでした。昭和28年(一九五三)、広島城跡は史跡に指定されたのです。そしてまちの復興が進むにつれ、広島市民の間からも広島誕生の起源である広島城の再建を望む声が上がりました。昭和33年(一九五八)には天守閣が復元され、現在に至っています。あと4年で復元天守閣も50歳を迎えるんですよ！

注：例えば、今も残る「八丁堀」という地名。東税務署近くから福屋あたりまでバス通りを南北に延びていた外堀の長さ(八丁)約880メートル)にちなみこう呼ばれた。

秋の企画展②

「そこには深〜い意味がある
入門！日本の画題」は
ひろしま歴史系資料館3館ジョイント事業
「発見！広島・江戸時代」
に参加しています。
いろいろな角度から広島
の歴史や江戸時代の文化を
探ってみませんか？

こちららも併せご覧ください

- 広島市郷土資料館 (Tel. 082-253-6771)
「旅人たちの見た芸州広島
—江戸時代の街道と旅—」
平成16年10月23日(土)~11月28日(日)
- 頼山陽史跡資料館 (Tel. 082-542-7022)
「頼家のふるさと 竹原の歴史と文化展」
平成16年10月20日(水)~11月28日(日)

*3館合同でスタンプラリーも開催します。展示をごらんの上ラリーに参加者した方の中から、抽選で30名様に3館の展示図録や美術館の招待券を進呈！くわしくは各館にお問い合わせください。